学校番号	２０３

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	現代の国語「改訂版 現代の国語」　（数研出版）						
副教材等	「改訂版プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「重要頻出漢字　リアルマスター３３００」（尚文出版） 「テーマ別　現代の国語 ベストクリア１」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校国語の学習では、言葉を通して物事を捉え、認識や思考を深めていくことが大切です。文章を読むことを通して自己を見つめるとともに、言葉には自己と他者との相互理解を深める働きがあることを理解しましょう。また、「感覚」だけに頼るのではなく、文章の構成や表現、論理の展開に着目しながら、筋道を立てて文章を読み解く力を身に付けていきます。授業で扱う文章はもちろん、それ以外の場においても幅広く様々な文章に触れ、日々思考力と感性を磨いてください。

一年次では、基礎的な国語の力を着実に身に付けることを大切にしながら、徐々に発展的な文章にも取り組んでいきます。人生を豊かにし、よりよい社会を築くための教養を培う素地を養えるよう、広い視野を持って授業に取り組んでほしいと思います。

授業では、話し合いや発表などの活動を取り入れ、自ら考え、学びを深める主体的な学習を行います。失敗を恐れず、自分の考えを言葉にしながら学習に取り組んでください。なお、評価は定期考査だけでなく、授業での取り組みや提出物なども含めて総合的に行います。また、漢字や基礎知識の定着を図るため、確認の小テストも適宜実施します。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の 各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・複数の文章をあわせて読み、異なる観点から「知性的な人」について説明する。 ［教材］ 「コミュニケーション能力とは何か」 「一人の中にある無限」	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b:目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。［話／聞］ c: 二つの文章において筆者が論じている内容を粘り強く読み解いて、その要点を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
	・評論の基本的な読み方を習得する。 ・対比構造を読み取りながら、筆者の主張を的確に捉える。 ［教材］ 「水の東西」	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［読］ c: 筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
	・複数の資料を読み比べ、それぞれの主張や視点の違いを整理する力を養う。 ・資料から得た情報を関連付けながら、人間の心理や自己認識について考察し、自分の考えを論理的にまとめる。 ［教材］ 実用の文章1/複数の資料を読み比べて考えをまとめる （参考教材:『鏡』）	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。［書］ c: 資料を踏まえて積極的に身近な例を考え、学習課題に沿って具体的にまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
二学期	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・文章中の抽象的な表現について説明する。 ・「時間」に関する本を読んで感想をまとめ発表する。 ・日本語と英語の単語を比較し、認識される対象にどのような違いがあるかを調べる。 ［教材］ 「時間と自由の関係について」 「ものとことば」	a:実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［読］ c: 同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・本文を踏まえて「事実」「推測」「意見」の定義を確認し、文章を批判的に読む。 ［教材］ 「科学と非科学」 「事実なのか考えなのか」	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。［書］ c: 粘り強く筆者の意見を理解し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	ワークシート レポート 授業プリント など

	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・世界中に「わらしべ長者」に似た話があるのは、経済学的な普遍性があるからだという筆者の主張を踏まえて自分の考えをまとめ、意見交換をする。 ［教材］ 「『わらしべ長者』の経済学」	a: 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b:「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。［書］ c: 自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・筆者の主張を、本文全体を踏まえて具体的に説明する。 ［教材］ 「未来世代への脅威」	a: 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［読］ c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
	・日常の出来事や身近な体験をもとに、筆者が人間の生き方や存在についてどのように考察しているかを読み取る。 ・出来事と筆者の思索との関係を整理し、文章の構造を理解する。 ・生命や人間の生き方について、自分の考えを深める。 ［教材］ 「ささやかな日常」 （参考教材:「城の崎にて」）	a: 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［読］ c: 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
三学期	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・文章中の抽象的な表現について説明する。 ・筆者の主張を、本文全体を踏まえて具体的に説明する。 ・グラフ資料と本文を関連づけて考察し、自分の考えをまとめる。 ［教材］ 「ポスト・プライバシー」	a:・推論の仕方を理解し使っている。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b:目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。［話／聞］ c:・筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・論理的な文章と複数の資料を積極的に読み比べることで実社会に関する考察を深め、学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。〃	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・文章中の抽象的な表現について説明する。 ・筆者の主張が述べられた部分について、指示語の内容を明示しながら説明する。 ［教材］ 「他者を理解するということ」 （参考教材:『羅生門』）	a: 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。［読］ c: 論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	ワークシート レポート 授業プリント など

4　学習の活動

※表中の観点について　a: 知識・技能　b: 思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[思考・判断・表現]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　２０　　）時間

・書くこと　　…　（　　３０　　）時間
・読むこと　　…　（　　１０　　）時間